

# 栄町 学校施設の個別施設計画

令和2年8月

栄町教育委員会

## (1) 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

### ① 背景

栄町の学校施設は、昭和57年以降、大規模住宅開発の進展が大きな要因となり人口が急増し、平成5年には、児童生徒数が4,253名となりピークを迎え、昭和58年に小学校1校、昭和63年に中学校1校、平成元年に小学校1校を新設し、小学校6校と中学校2校となりました。しかし、平成6年から児童生徒数は減少に転じ、平成16年には児童生徒数が2,000名を割り、さらに減少することが推計されたことから、小学校を6校から4校に、中学校を2校から1校に平成27年4月に学校統廃合を行いました。

一方、学校施設は老朽化が進み、8年後には、すべての小中学校施設が建築後30年以上となり、大規模改修や建替えに多額の費用が必要になると考えられ、これらの適正な維持管理が課題となっています。

文部科学省の資料によると、学校施設はこれまで平均42年で建替えられてきましたが、今後は、施設の長寿命化を図りながら、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化により学校施設の適正な機能を確保するものとしています。

また、学校施設の整備にあたっては、単に劣化した建築物や設備等を竣工時に戻すだけでなく、現在求められる教育活動にあわせた教育施設の改善が求められています。

### ② 目的

「栄町学校施設の長寿命化計画（以下「本計画」という。）」は、上記の背景を踏まえて学校施設を総合的にとらえ、教育環境の質的改善を考慮しながら長寿命化、建替え等を検討するための詳細診断の優先順位を設定し、これらに要するコストの縮減と平準化を目的に策定します。

なお、本計画は、栄町公共施設等総合管理計画（平成29年3月）を上位計画とし、学校教育施設等の個別施設計画として位置付けるものです。

③ 計画期間

令和 2 年～令和 35 年（ 5 年ごとに見直し）

令和元年度から令和31年度までの30年間を整備保全計画期間とします。また、実施実行については、施設の老朽化状況等の実態を継続的に把握し、PDCAサイクルにより実行するものとします。また、本計画は5年ごとに見直します。

④ 対象施設

学校教育施設

小学校	4 校
中学校	1 校

学校給食共同調理場

共同調理場	1 施設
-------	------

※対象施設は、学校施設台帳施設とします。

## (2) 学校施設の目指すべき姿

### ●学力の育成と指導を行うための教育環境の整備

児童生徒に基礎学力・基本的な知識・技能等を確実に習得できるよう、少人数教育や多様な学習展開に対応する施設整備を進めます。

また、グローバル社会に対応した教育（英語、コミュニケーション力）やICTを活用した授業の推進のための環境を整備します。

さらに、児童・生徒の教育ニーズに応じた特別支援教育に対応した施設や充実した運動ができる環境の整備を図るものとします。

### ●安心安全な施設環境の整備

児童生徒が安心して教育を受けられるよう施設の安全性に配慮した施設整備を図るとともに、障害の有無に関わらず安心して利用できるようユニバーサルデザイン化を目指します。

また、食育の充実を図るための施設整備を図るものとします。

## (3) 学校施設の実態

## ① 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

## 1) 対象施設一覧

(令和2年4月1日現在)

名 称	住 所	児童生徒数(人)		学級数(学級)		
		通常学級 在籍者数	特別 支援	通常 学級	特別 支援	
小学校	1 安食小	栄町安食305番地	250	33	10	6
	2 布鎌小	栄町請方157の1番地	73	5	6	2
	3 安食台小	栄町安食台4丁目34番1号	225	18	10	4
	4 竜角寺台小	栄町竜角寺台6丁目26番1号	114	3	6	2
小学校 計			662	59	32	14
中学校	1 栄中	栄町安食55番地	341	8	11	2
中学校 計			341	8	11	2
小中学校 合計			1,003	67	43	16

2) 児童生徒数及び学級数の変化

<児童生徒数>

(人)

	これまでの推移								将来推計				
	1982	1987	1992	1997	2002	2007	2012	2017	2022	2027	2032	2037	2042
	昭 57	昭 62	平 4	平 9	平 14	平 19	平 24	平 29	令 4	令 9	令 14	令 19	令 24
小学校 児童数	953	1,907	2,861	2,147	1,415	1,040	906	749	690	678	666	654	642
中学校 生徒数	425	864	1,378	1,533	908	619	530	405	384	378	372	366	360
合計	1,378	2,771	4,239	3,680	2,323	1,659	1,436	1,154	1,074	1,056	1,038	1,020	1,002

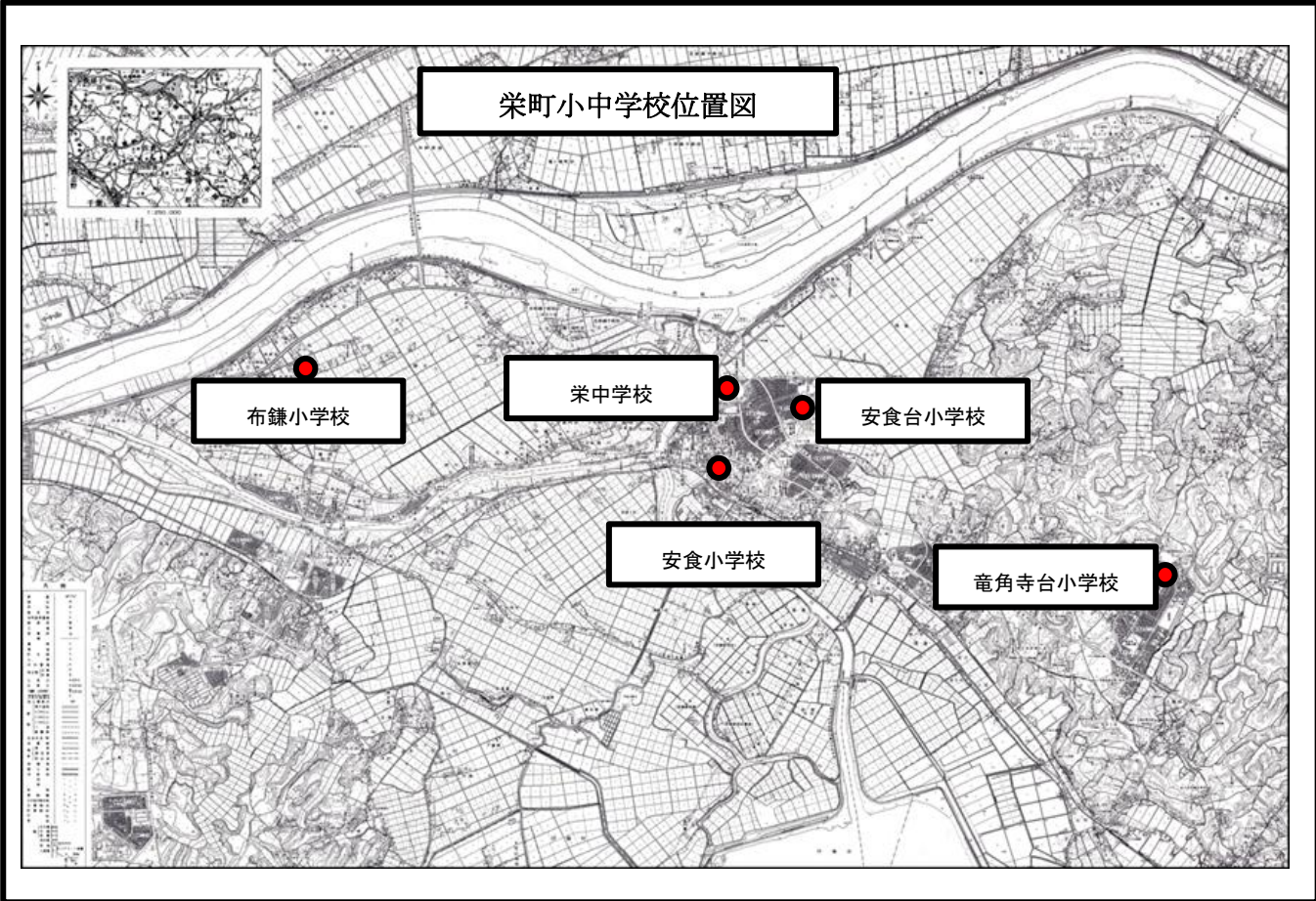
<学級数>

(学級)

	これまでの推移								将来推計				
	1982	1987	1992	1997	2002	2007	2012	2017	2022	2027	2032	2037	2042
	昭 57	昭 62	平 4	平 9	平 14	平 19	平 24	平 29	令 4	令 9	令 14	令 19	令 24
小学校	38	62	96	75	57	55	50	45	44	44	44	43	43
中学校	12	21	39	41	28	23	18	14	14	14	14	14	14
合計	50	83	135	116	85	78	68	59	58	58	58	58	57

小中学校の児童生徒数は、昭和53年からニュータウンの整備が開発されるとともに急速に増加し、平成4年の4,239人をピークに減少が始まり、平成30年5月1日には、ピーク時の約1/4の1,108人になり、今後も少しずつ減少することが予想されます。

3) 学校施設の配置状況



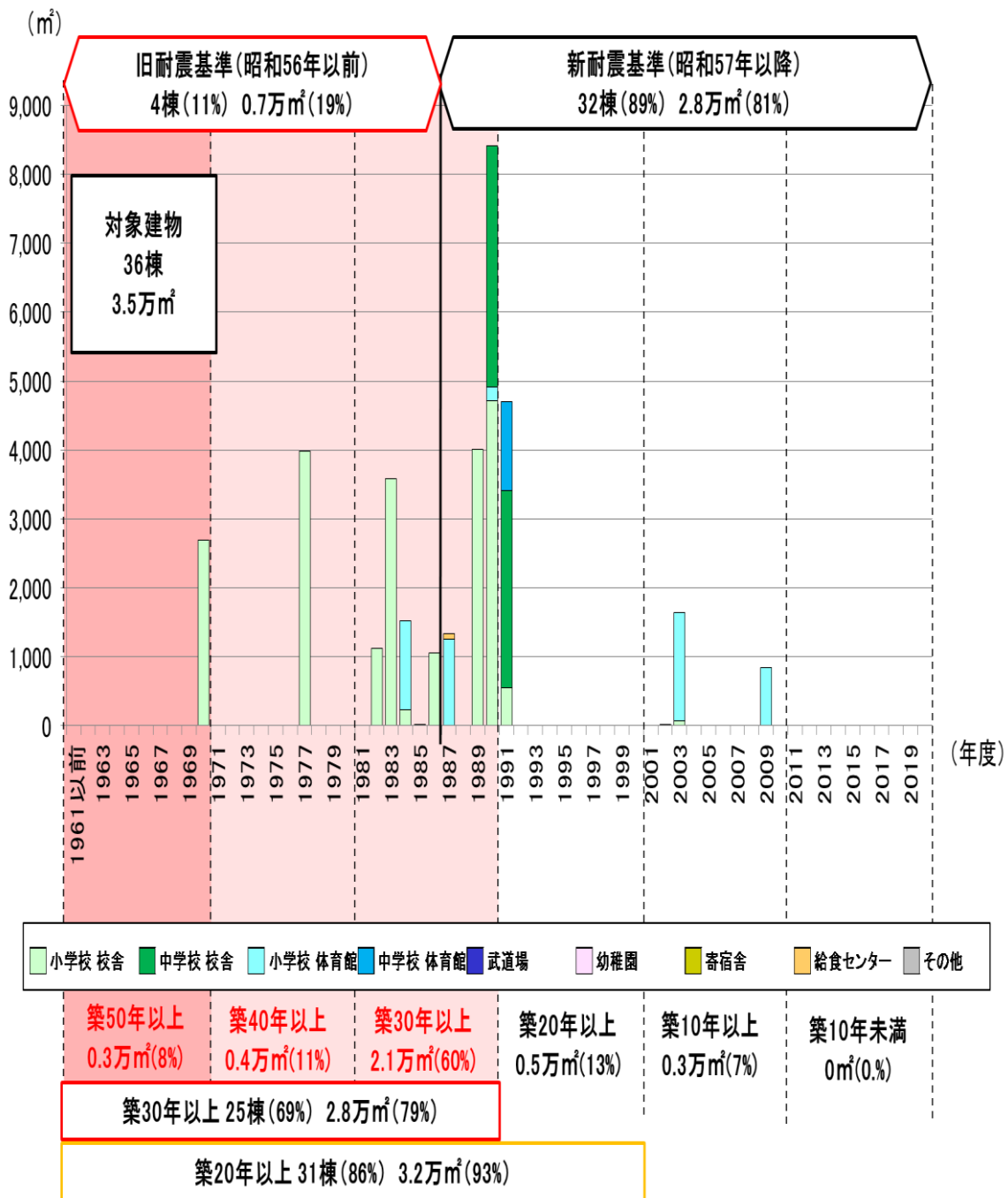
4) 施設関連経費の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	5 年平均
施設整備費	21,664	338,907	46,738	3,911	2,995	82,843
その他施設整備費	0	5,694	19,386	0	0	5,016
維持修繕費	6,099	3,151	3,289	2,543	1,822	3,381
光熱水費・委託費等	23,897	21,901	22,588	21,312	20,901	22,120
施設関連経費合計	51,660	369,653	92,001	27,766	25,718	113,360

5) 学校施設の保有量

計画対象の小中学校は、築30年以上の建物が2.8万㎡(80%)あり、ほとんどの建物が老朽化の状況となっていますが、築50年以上の建物は少ないことから、長寿命化による対応の可能性を検討する必要があると考えられます。

築年別整備状況

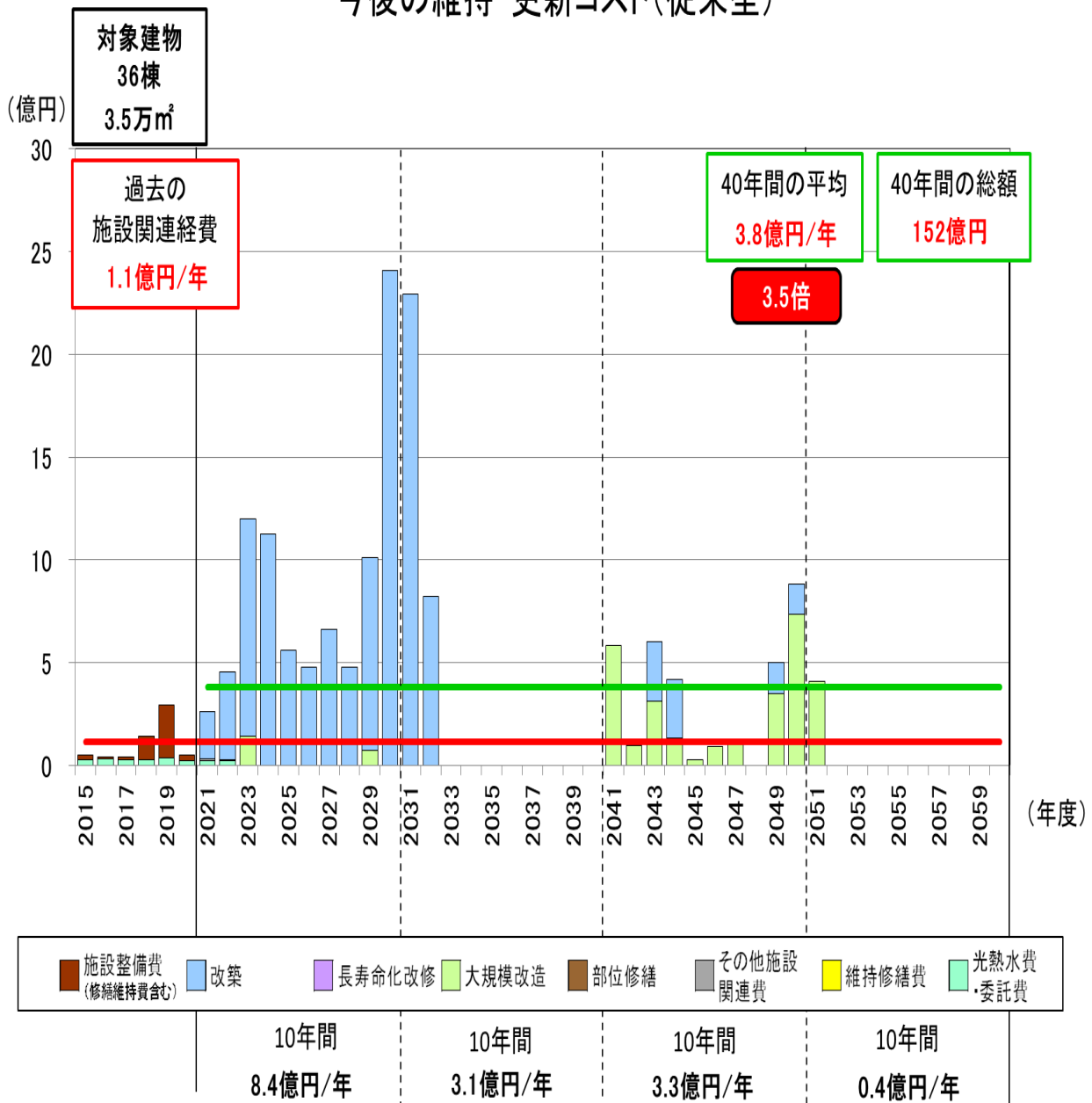




6) 今後の維持・更新コスト (従来型)

40年で建替える従来の修繕・改修を今後も続けた場合、今後の40年間のコストは152億円(3.8億円/年)かかります。これは、直近5年間の施設関連経費(投資的経費)の1.1億円/年を3倍以上上回ります。

今後の維持・更新コスト(従来型)



②学校施設の老朽化状況の実態

1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

建物情報一覧表

■:築50年以上 □:築30年以上 基準 2020

A:概ね良好 C:広範囲に劣化  
B:部分的に劣化 D:早急に対応する必要がある

通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	固定資 産台帳 番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数	構造躯体の健全性			劣化状況評価					備考			
						学校種別	建物用途				西暦	和暦		耐震安全性			長寿命化判定		屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上		電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)
														基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/㎡)							
1	1551	安食小学校	校舎1	1-1		小学校	校舎	RC	3	1,562	1970	S45	50	旧	済	済	H10	長寿命	B	C	C	C	C	43	1
2	1551	安食小学校	校舎2	1-2		小学校	校舎	RC	3	1,125	1970	S45	50	旧	済	済	H10	長寿命	B	C	C	C	C	43	2
3	1551	安食小学校	校舎3	2		小学校	その他	RC	1	11	1970	S45	50	旧	-	-	-	改築	B	C	C	C	C	43	3
4	1551	安食小学校	校舎4	5		小学校	その他	S	2	33	1986	S61	34	新	-	-	-	改築	B	B	B	A	A	81	4
5	1551	安食小学校	校舎5	9		小学校	校舎	RC	3	1,119	1982	S57	38	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	C	71	5
6	1551	安食小学校	体育館1	12-1		小学校	体育館	RC	2	1,406	2003	H15	17	新	-	-	-	長寿命	B	A	D	A	B	61	6
7	1551	安食小学校	体育館2	12-3		小学校	体育館	S	1	162	2003	H15	17	新	-	-	-	改築	A	B	A	B	A	90	7
8	1551	安食小学校	校舎6	13-1		小学校	その他	S	1	68	2003	H15	17	新	-	-	-	改築	A	A	A	A	A	100	8
9	1554	布鎌小学校	校舎1	14		小学校	校舎	RC	3	3,400	1990	H2	30	新	-	-	-	長寿命	D	C	D	B	B	35	9
10	1555	布鎌小学校	校舎2	15		小学校	その他	S	1	33	1990	H2	30	新	-	-	-	改築	A	B	A	A	A	93	10
11	1556	布鎌小学校	校舎3	16		小学校	その他	RC	1	19	2002	H14	18	新	-	-	-	改築	A	A	A	A	A	100	11
12	1554	布鎌小学校	体育館	17		小学校	体育館	S	1	848	2009	H21	11	新	-	-	-	長寿命	A	A	D	A	A	66	12
13	1556	安食台小学校	校舎1	1		小学校	校舎	RC	3	3,584	1983	S58	37	新	-	-	-	長寿命	D	D	A	C	B	56	13
14	1556	安食台小学校	校舎2	2		小学校	その他	S	2	45	1984	S59	36	新	-	-	-	改築	B	B	A	A	A	91	14
15	1556	安食台小学校	体育館	3		小学校	体育館	S	2	1,292	1984	S59	36	新	-	-	-	長寿命	C	D	D	B	B	29	15
16	1556	安食台小学校	地域・学校連携施設	4		小学校	その他	S	1	181	1984	S59	36	新	-	-	-	長寿命	D	C	B	B	C	55	16
17	1556	安食台小学校	校舎4	6		小学校	その他	S	1	17	1985	S60	35	新	-	-	-	改築	B	B	C	B	B	62	17
18	1556	安食台小学校	校舎5	9		小学校	校舎	RC	3	1,026	1986	S61	34	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	18
19	1556	安食台小学校	校舎6	10		小学校	その他	S	2	168	1989	H元	31	新	-	-	-		B	B	B	B	B	75	19
20	1556	安食台小学校	校舎7	12		小学校	その他	S	1	29	1990	H2	30	新	-	-	-	改築	B	B	B	B	B	75	20
21	1557	竜角寺台小学校	校舎1	1		小学校	校舎	RC	3	3,798	1989	H元	31	新	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	B	44	21
22	1557	竜角寺台小学校	校舎2	3		小学校	その他	S	1	32	1989	H元	31	新	-	-	-	改築	B	B	A	A	A	91	22
23	1557	竜角寺台小学校	体育館	4-1		小学校	その他	RC	2	1,255	1990	H2	30	新	-	-	-	長寿命	C	B	B	A	A	78	23
24	1557	竜角寺台小学校	地域・学校連携施設	4-2		小学校	その他	RC	2	201	1990	H2	30	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	24
25	1557	竜角寺台小学校	校舎3	5		小学校	その他	S	2	534	1991	H3	29	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	25
26	1557	竜角寺台小学校	校舎4	6		小学校	その他	RC	1	17	1991	H3	29	新	-	-	-	改築	B	B	B	B	B	75	26
27	1557	竜角寺台小学校	校舎5	7		小学校	その他	S	1	15	1989	H元	31	新	-	-	-	改築	B	B	A	A	A	91	27
28	4201	栄中学校	校舎1	16		中学校	校舎	RC	4	3,979	1977	S52	43	旧	済	済	H10	長寿命	A	A	A	A	A	100	28
29	4201	栄中学校	校舎2	20		中学校	校舎	RC	4	3,491	1990	H2	30	新	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	29
30	4201	栄中学校	体育館1	21-1		中学校	体育館	RC	3	2,122	1991	H3	29	新	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72	30
31	4201	栄中学校	校舎3	21-2		中学校	その他	RC	3	1,286	1991	H3	29	新	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72	31
32	4201	栄中学校	地域・学校連携施設	21-3		中学校	その他	RC	3	284	1991	H3	29	新	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72	32
33	4201	栄中学校	体育館2	21-4		中学校	武道場	RC	3	458	1991	H3	29	新	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72	33
34	k080	学校給食センター	給食センター	1		給食センター	給食センター	RC	2	1,257	1987	S62	33	新	-	-	-	改築	D	D	D	D	D	10	34
35	k080	学校給食センター	給食センター	2		給食センター	その他	RC	1	72	1987	S62	33	新	-	-	-	改築	B	B	B	B	B	75	35
36	k080	学校給食センター	給食センター	2		給食センター	その他	RC	1	9	1987	S62	33	新	-	-	-	改築	B	B	A	A	A	91	36

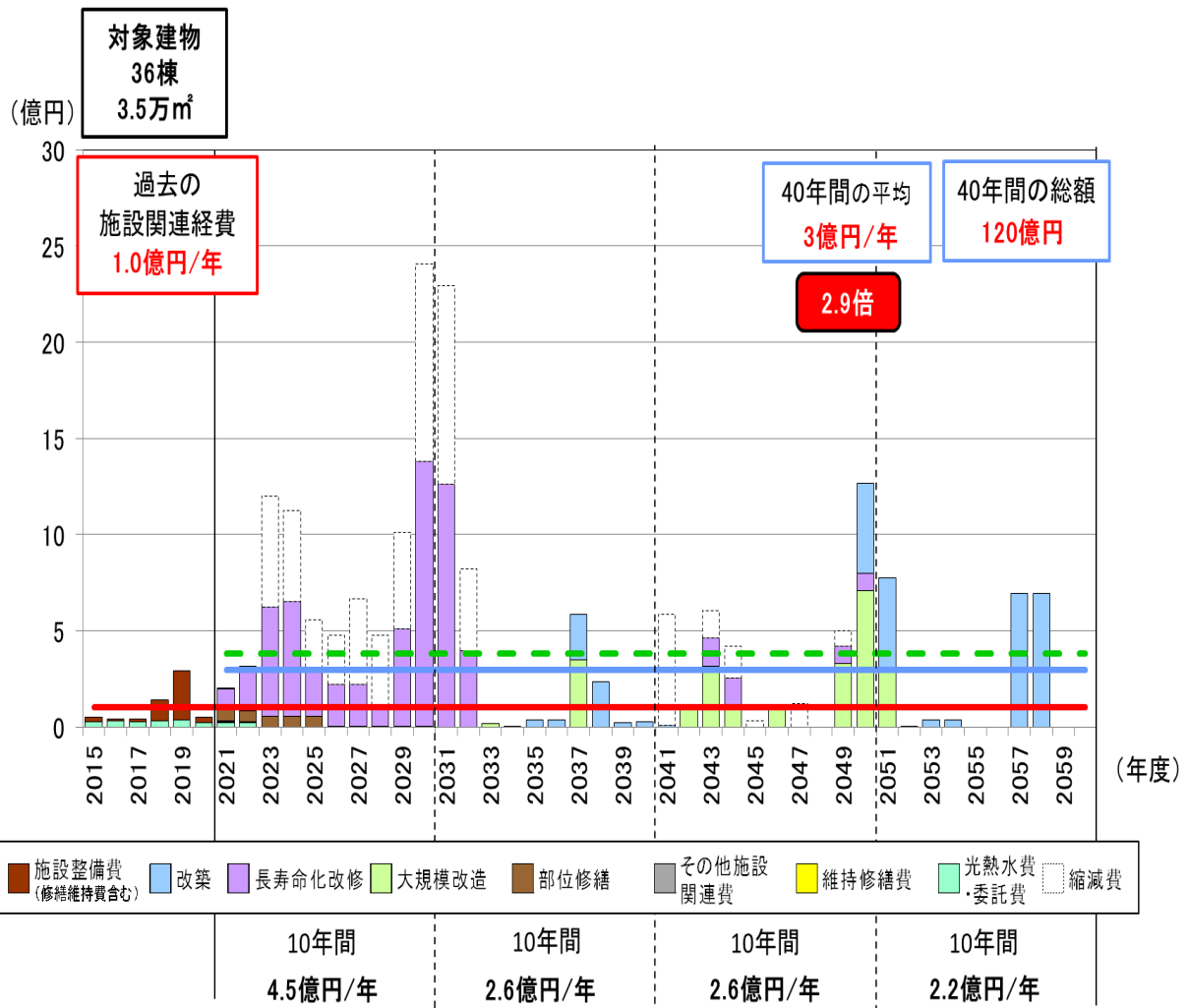
2) 今後の維持・更新コストの把握（長寿命化型）

建替え中心から改修による長寿命化に切り替えていくためには、計画的に機能向上と回復に向けた修繕・改修を建物全体でまとめて実施する必要があります。

長寿命化により80年に建物を長寿命化した場合、今後40年間維持・更新コストは総額120億円（3億円/年）となり、従来の建替え中心の場合の152億円

（3.8億円/年）より総額32億円、約21%の縮減となります。ただし、過去に施設関連経費（投資的経費）1億円に対してまだ2.9倍のコストがかかるため、長寿命化だけでは今後の財政に対応できない状況です。

今後の維持・更新コスト(長寿命化型)



## (4) 学校施設整備の基本的な方針等

### ① 学校施設の規模・配置計画等の方針

#### 1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針

<p>公共施設等総合管理計画の基本方針</p>	<p>総合的かつ計画的な公共施設の等の管理を図るため、財政課を中心に、毎年度の財源を調整のうえ、長寿命化の事業を展開していきます。また、各所管課は、施設情報や点検結果など情報を長寿命化や更新計画に活用し、それぞれの個別施設計画の策定を行い、公共施設の適切な維持管理に取り組んでいきます。</p>
<p>公共施設等総合管理計画の施設類型別方針 【学校】</p>	<p>平成 26 年度末に小学校 3 校（北辺田小・酒直小・安食台小）を新生「安食台小」へ中学校 2 校（栄中・栄東中）を新生「栄中」へと統合しました。学校は、児童生徒が日常的に使用する施設であるため、今後も、引き続き建築年度や老朽化とともに児童生徒数の状況を考慮した上で、計画的に大規模改修を実施し、長寿命化に取り組めます。また、日常の維持管理により発見された劣化、損傷は修繕し、児童生徒の安全を確保します。</p>



<p>学校施設の長寿命化計画の基本方針</p>	<p>栄町総合管理計画の基本方針と整合性を図り、学校施設計画を策定し適切な維持管理に努めます。</p> <p>長寿命化の実施方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の財政推計を踏まえたうえで、重大な損傷や致命的な損傷となる前に予防保全型の管理を実施することにより、健全な状態を維持しながら長寿命化を図ることで維持管理総コストの縮減を図ります。</li> <li>・栄町総合管理計画と整合性を図りながら計画の見直しを図ります。</li> <li>・重点的かつ効率的に長寿命化を実施していきます。</li> </ul>
-------------------------	--

## 2) 学校施設の規模・配置計画等の方針

当町の全5小中学校は、町内にバランスよく配置されており、災害時には避難所としての機能も有し、地域の防災拠点としても位置づけられていることから、原則として現在の配置を維持していきます。

## ② 改修等の基本的な方針

## 1) 長寿命化の方針

学校施設の長寿命化計画策定に係る手引き(平成27年4月 文部科学省)では、「適切な維持管理がなされ、コンクリート及び鉄筋の強度が確保される場合には70～80年程度、さらに、技術的には100年以上持たせるような長寿命化も可能である。」とされています。

診断等により長寿命化が可能と判断された棟については、80年を目標供用期間として設定します。

## 2) 目標使用年数、改修周期の設定

	目標使用年数	大規模改造の周期	長寿命化改修の周期
校舎	80年	築 20 年 / 60 年	築 40年
体育館	80年	築 20 年 / 60 年	築 40年

築20年目：中規模修繕：(屋上防水改修、設備機器更新、劣化の著しい部位修繕)  
経年劣化による消耗、機能低下に対する機能回復工事

築40年目：長寿命化改修：(屋上防水、外壁、内部改修、開口部改修、設備機器、)  
経年劣化による消耗、機能回復工事と社会的要求に対応するための機能向上工事

築60年目：中規模改修：(屋上防水改修、設備機器等更新、劣化の著しい部位修繕)  
経年劣化による消耗、機能低下に対する機能回復工事

(5) 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

① 改修等の整備水準

栄町は、耐震改修、トイレの洋式化、空調設備の導入、体育館の天井落下防止、グラウンドの改修工事等、施設水準の維持・向上に努めてきました。

時代とともに施設に対する性能の向上等の社会的な要請に応じるための改修を実施するとともに、改築、大規模改修、長寿命化改修時には優先順位を設定し、施設水準の向上を図っていきます。

② 維持管理の項目・手法等

3 年ごとに点検を実施

通し番号	xxxx-xx-x		
学校名	A学校	学校番号	1301
調査日	平成28年9月20日		
建物名	校舎	記入者	〇〇
棟番号	1	建築年度	昭和44 年度( 1969 年度)
構造種別	鉄筋コンクリート造	延床面積	2,562 m <sup>2</sup>
		階数	地上 3 階 地下 0 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)		箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容					
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水 <input type="checkbox"/> アスファルト露出防水 <input checked="" type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水 <input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板) <input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類) <input type="checkbox"/> その他の屋根 ( )	H7	防水改修	<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある <input checked="" type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある <input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある <input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある <input checked="" type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある <input type="checkbox"/> 樋やルーフトンを目視点検できない <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある		2	EXP.J金物に脱落がある	C
		H3 H10	外壁改修 耐震補強	<input checked="" type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある <input checked="" type="checkbox"/> 外壁から漏水がある <input checked="" type="checkbox"/> 塗装の剥がれ <input checked="" type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている <input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある <input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある <input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある <input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽 <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある		5 多数	北側の劣化	

部位	改修・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input checked="" type="checkbox"/> 老朽改修	H5	大規模改造	B
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
4 電気設備	<input checked="" type="checkbox"/> 分電盤改修	H22		A
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input checked="" type="checkbox"/> 昇降設備保守点検	H18	指摘無し	
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			C
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input checked="" type="checkbox"/> 消防設備の点検	H27	指摘への対応済み	
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

## (6) 長寿命化の実施計画

### ① 改修等の優先順位付けと実施計画

栄町教育振興基本計画（平成 31 年度～令和 4 年度）を基本とし、学校施設の改修工事を行います。

学校給食センターは、昭和 62 年築後、大規模改修工事を行っておらず、施設の老朽化が激しく、また、学校給食衛生管理基準も改正され安全・安心な給食の提供が難しいことから、改築を行います。

また、安食台小学校、栄中の屋外運動場（一部）は、学校設置後大規模な改修工事を実施していないことから排水設備の劣化やグラウンドが硬化状態等のため令和 2 年度に改修工事を実施します。また、布鎌小学校は改築後 30 年を経過し老朽化が進行していることから令和 2 年度に大規模改修を実施し、竜角寺台小学校も建築後 30 年を経過していることから令和 3 年度に大規模改修を実施します。

また、学校給食センターは、供用開始後 30 年以上を経過し老朽化が激しく、「学校給食衛生管理基準（平成 21 年改正）」に適合していない部分があることから令和 5 年度の供用開始を目指し建替えを実施します。

今後、築 20 年目以上となり経年劣化による消耗、機能低下に対する機能回復工事をまだ行っていない施設については、計画的に改修工事を行っていきます。

### ② 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果～維持・更新の課題と今後の方針～

(4)-②-2) で目標使用年数、改修周期を設定したように耐用年数を 60 年で改築する場合と、耐用年数を 80 年に延ばす長寿命化を実施した場合の費用を比較した場合は、長寿命化を行った場合の方が経費がかからないと試算されたが、当町においては、20 年サイクルではなく概ね 30 年サイクルで大規模改修工事を実施している状況であり、老朽化の進行により長寿命化が図れない場合も想定されるが、長寿命化に向け建築後 20 年以上を経過している施設は計画的に大規模改修を実施します。

## (7) 長寿命化計画の継続的運用方針

### ① 情報基盤の整備と活用

今後施設の基本情報、光熱費などの運営経費、修繕や工事履歴や劣化状況等の情報を一括整理し一元管理を推進します。

### ② 推進体制等の整備

学校施設の所管課である教育員会教育総務課を中心に本計画を推進します。

### ③ フォローアップ

本計画は、学校施設の改修や建替えの優先順位を設定するものであり、施設の劣化状況等の点検等により事業を精査し、本計画を見直します。